

令和5(2023)年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

施設名称	平成記念郡山こどものもり公園		施設区分	施設管理型			
施設所在地	郡山市富久山町福原字90番110 外		指定管理者	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		施設所管部課	都市構想部公園緑地課			
評価項目	評価基準	配点(標準点)	指定管理者自己評価	自己評価コメント	市評価	市評価コメント	特記事項
I 市民の平等な利用の確保							
1	平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。(例: 使用許可、使用料等の減免、利用の制限等)	2(1)	2	条例・規則に基づき、公平・平等に対応した。イベント受付は電子メール・FAXでの募集・抽選制を導入し公平性を確保した。	2	
2	危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故・災害発生時又は危険予測時の対策・対応が行われているか。(例: マニュアル整備、訓練等)	2(1)	2	BCP(業務継続計画)、施設管理要綱を策定している。危機管理マニュアルを運用している。警報が出た際は、館内及び建物周辺を巡回し危険個所の確認を行っている。消防訓練を2回実施した。立枯木のリストを整備し、事故が起きる前に対処した。	2	
		小計	4	4		4	
II 施設の効用の最大限の発揮							
3	管理運営方針	市が示している管理運営方針及び仕様書に合致した、施設の管理運営がなされているか。	4(3)	3		3	
4	事業実施状況	計画どおり事業が実施されているか。サービス向上の取り組みがなされているか。	4(3)	4	抽選制や電子メールでの募集を開始した。計画よりも定員を増やして実施した事業もあり、アンケート結果も良好である。	4	
5	広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。(例: 事業の開催案内、ホームページの管理等)	4(3)	3		3	
6	接客態度	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	4(3)	4	公社主催の接客研修に参加した。常日頃から名札着用を徹底し、適切な言葉づかいや態度を心がけて、電話対応や巡回にあたった。作業時には適した服装で臨んでいる。	3	職員の勤務態度への苦情は見られなかった。
7	苦情・要望の把握・対応	利用者からの意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。(記録簿整備を含む。)特に重要な事案については、遅滞なく市へ報告しているか。	4(3)	3		3	
8	市、関係機関、類似施設、地元等との連携	市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、周辺施設、地元等との連携を図っているか。(例: 施設間の回遊・相互利用、地元とのタイアップ、積極性等)	4(3)	3		3	
9	利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケートによる指摘のうち、改善すべき事項について対応を図っているか。	3(2)	3	改善すべき事項について、速やかに対応し、可能な限り改善を図った。以下積極的に改善した点 ①立枯木のリストを作成し、利用者の安全に務めた ②1ヶ月に1度、遊具の日常点検を行った ③冬場には灯油を提供した ④太陽の広場の時計を修繕し、受信機の整備を行った ⑤経年劣化によるグレーチングがたつきのため、交換を行った	3	
		小計	27	23		22	
III 管理経費の縮減							
10	帳簿管理・経理	帳簿等は適正に管理されているか。契約にあたり、適正な経費算定(積算)が行われたか。業務委託や修繕について適正な監督、検収が行われたか。	5(3)	5	当社規程に基づき、厳格に帳簿等を管理した。契約等の業務においても、必要書類を整備し、適正に行った。社外監事による監査、公認会計士による会計指導を受けた。	5	
11	収入確保、支出の適正化等、予算の執行状況	収入確保の取組みを推進しているか。指定管理料を含め、支出が適正に行われたか。	5(3)	5	複数業務の一括発注に努め、支出は適正に行った。利用料金収入があり、昨年度よりも収入が10%以上増加した。利用料金収入増加のため、利用者の要望に応えるよう務めている。	5	
		小計	10	10		10	

(様式2)

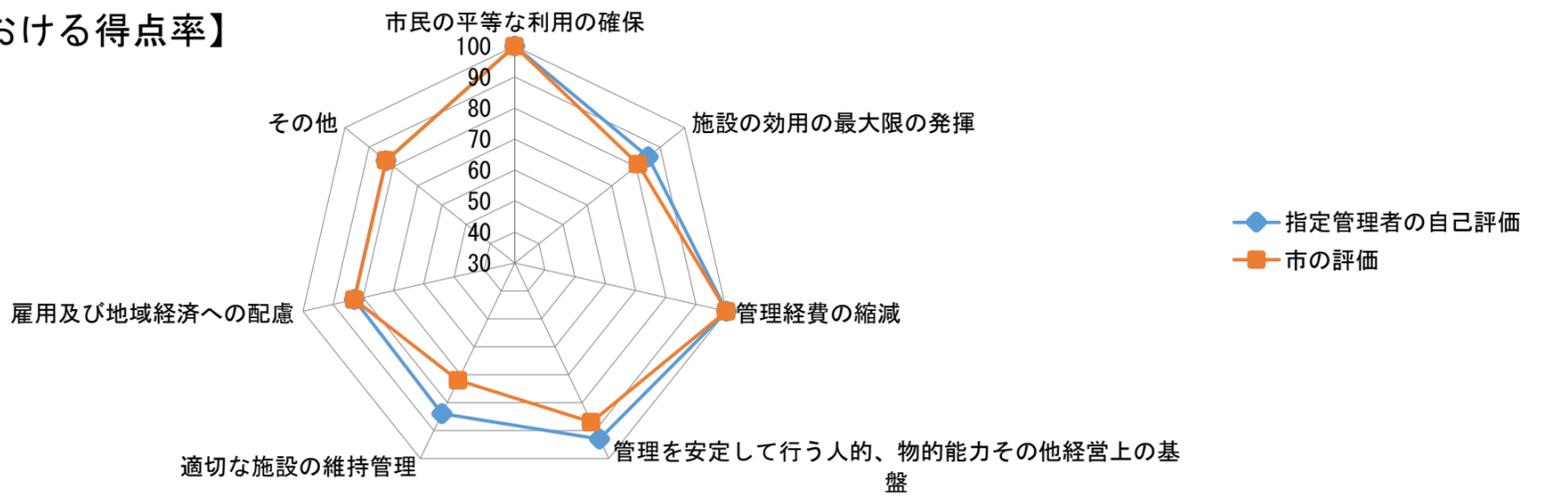
IV 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤							
12	人員・研修体制	人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。	5(3)	5	資格の有無や経験等踏まえ、他施設と兼務しながら適切な人員配置を行った。職員がそれぞれ接遇研修・遊具の点検講習会・防火管理者講習・刈払い機講習・伐木等特別教育講習を受講。また、樹木医、公園管理士の有資格者の方から指導を受けている。	5	
13	収支状況	収支予算書どおりの収支状況となっているか。	5(3)	5	収支状況は概ね良好で、指定管理会計の収支及び他会計繰入金を除いた収支はともに黒字であった。利用料金収入も昨年より10%以上増加している。	5	
14	連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切に行っているか。市や地域、関係機関との連携調整を適切に行っているか。	5(3)	4	各種届出、報告、書類提出、協議、相談を適切に行った。また、地域や関係機関との連絡調整も適切に行った。警報発令時や巡回時の点検で異常があった場合は逐一報告し、事務局とも共有している。	3	災害発生時の速やかな連絡など、市への相談体制は適切であった。
小計			15	14		13	
V 適切な施設の維持管理							
15	施設・設備の保守管理	法定点検が確実に行われているか。施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。(修繕を含む。)	12(5~7)	8	法定点検・定期点検を遺漏なく行った。また、修繕計画を作成し修繕が必要な場合は所管課へ報告、可能な限り速やかに実施し適切な保守管理に努めた。枯枝や支障のある枝葉は適宜剪定している。警報発令時は危険箇所の現場確認を行い、逐一所管課及び事務局に報告し、情報の共有をしている。	6	年度計画が作成され、適切に実施された。
16	安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。	5(3)	5	建物・設備等の点検や危険箇所の把握(立枯木のリスト等)を日常的に行い、安全に利用できるような状態を維持した。遊具の点検講習会に参加した職員が日常点検についてその他の職員に指導した。遊具の日常点検は月に1回行った。また、リスク対応のため保険に加入した。	3	仕様書や指定申請時の提案内容が適正に実施されており、要求水準を満たしている。
17	清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。	5(3)	4	施設清掃、園内除草・清掃、屋外トイレ清掃、廃棄物処理等を計画どおり実施した。ゴミの分別を徹底し、産業廃棄物は適正に処理した。また、不適切掲示物等のないように努めた。	3	不適切掲示物等のないよう美観維持に努めていた。
18	備品の管理	備品が適切に管理されているか。	3(2)	3	損傷・滅失することなく、台帳との整合性もとれるように適切に管理した。	3	
19	持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。(例：持ち込み物品等管理簿、表示等)	3(2)	3	管理簿と全て現地の物品が一致しており、適正に管理している。	3	
20	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	2(1)	2	関係する法令、条例、規則等を遵守し、必要な点検、報告、手続きを行った。	3	
21	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	2(1)	2	当社規程に基づき適切に管理し、情報の漏洩、滅失等の事故防止に努めた。情報セキュリティ要綱を策定し運用、個人情報ハンドブックを整備している。	2	
小計			32	27		23	
VI 雇用及び地域経済への配慮							
22	雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の順守がなされているか。労働条件への配慮は十分か。	3(2)	3	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等を遵守した。また、法定を上回る有給休暇の取得ができるような環境づくりに努めた。男性の育児休暇の拡充や、職場環境について必要な事項をまとめた安全衛生管理要項を定めた。	3	
23	地域経済への配慮	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。再委託は計画通り適正に行われているか。市内事業者への再委託を行っているか。	3(2)	2		2	
小計			6	5		5	
VII その他							
24	活動指標	設定した指標の目標値(開館日、情報発信回数)を達成しているか。	2(1)	2	開館日、情報発信回数のどちらも目標値100%以上で達成している。	2	
25	成果指標	設定した指標の目標値(施設利用者数)を達成しているか。	2(1)	1		1	
26	指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか。地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか。	2(1)	2	市に協力して積極的な管理運営を行った。また、地域や関係団体との円滑な関係構築に努めた。	2	
小計			6	5		5	
合計点			100	88		82	

	実績					合計
	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	
指定管理料 (千円)	25,395	25,150	25,201	25,454	25,357	126,557
利用料金収入 (千円)	0	0	0	22	28	50
利用者数 (人)	22,629	21,796	21,276	25,486	18,426	126,607
二次評価 (市の評価)	A	B ⁺	B ⁺	B ⁺	A	
備考	令和2年3月は新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が少なかった。	新型コロナウイルスや福島県沖地震による影響が大きかった。	新型コロナウイルスや福島県沖地震による影響が大きかった。	新型コロナウイルスによる利用者減から回復した。		

サービス向上対策

- ・立枯木のリストを整備し、枝の切り落としなど自前でできるものは対応した。
- ・修繕リストを整備し、計画的に修繕を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、事業の実施方法もコロナ渦以前のものに変更していき、定員を計画より増やして実施したのもあった。
- ・イベントの募集を先着から抽選に変更、電子メールでの受付も開始し公平性を確保した。

【各評価区分における得点率】



【一次評価（指定管理者による自己評価）】

評価	点数	評価内容
A ⁺	88	<p>【総合評価（評価できる点等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用では、条例や規則に基づき公平・平等な取り扱いを行い、占有により申請が必要な場合は丁寧に説明し、了解を得ることに努め、昨年以上に利用料金収入を確保した。 ・施設、設備等の維持管理では、各種の法定点検を漏れなく実施するとともに修繕リストを作成し日常的な点検を行い、不具合が見つかった箇所は可能な限り修繕等を行った。職員による遊具の日常点検は月に1回行った。また、立ち枯れ木などの危険木に関しては、立枯木のリストを整備し、業者委託、自前処理を行って安全対策を実施した。 ・事業は抽選制や電子メールでの受付を開始し、公平性を確保した。計画よりも定員を増やした事業もある。 ・管理経費の縮減は一定程度達成できており、収支状況は概ね良好であった。 ・BCP（事業継続計画）や施設管理要項、情報セキュリティ要項を策定して運用している。 ・外来種カミキリムシ被害の有無の経過観察を行っている。 ・安全衛生委員会の設置や育児休暇拡充など労働環境の改善に努めた。 <p>【改善のための行動計画への対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の定員を制限していたが事業計画どおりの定員に戻し、事業によっては計画より定員を増やし実施した。

【二次評価（市による評価）】

評価	点数	評価内容
A	82	<p>【総合評価（評価できる点等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会の設置とともに安全衛生管理要綱を定めるなど、積極的な安全確保への取り組みを行っている。 ・公園内での問題発生時、市への連絡が迅速かつ遺漏なく行われている。 <p>【次年度に向けて改善を望む点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を用いた広報など、既存手法以外の新たなPR方法を検討してほしい。

(様式2)

【指定期間全体を振り返っての総括評価】

	プラス評価となる点	マイナス評価となる点
指定管理者による評価 (一次評価)	<ul style="list-style-type: none">・立枯木の位置を把握してリストを作成、事故が起きる前に伐採や枝の剪定を行った。経費削減のため、自前で行ったものもある。・修繕リストを作成し、計画的に修繕を行った。危険箇所は速やかに立入禁止措置をし、市に報告した。・コロナウイルス感染症拡大の時期を含むが、独自に作成した新型コロナウイルスガイドラインを運用し、安心安全に施設管理を行った。事業は、換気や定員等の見直しで工夫してコロナ渦でも市と協議しながら取り組んだ。・施設管理にあたり、接遇研修・遊具の点検講習会・防火管理者講習・刈払い機講習・伐木等特別教育講習を受講し、日常業務に活かした。コスト削減のため、伐木等特別教育講習に参加した職員で可能なものは伐採を行った。・同一選定単位内の郡山市ふれあい科学館との連携事業を行い、双方の施設で来館者増加のため活動した。	<ul style="list-style-type: none">・老木や施設の老朽化により伐採や修繕箇所は多々あったが、予算の都合ですべてに対応することはできなかった。・最後の2年間は施設利用料金収入等、収入の確保に務めたが、それ以前は積極的に対応できなかった。
市による評価 (二次評価)	<ul style="list-style-type: none">・「もりのクラブ」「自然観察会」等、公園の自然環境を活かした多数のイベント等を積極的に実施し、公園の魅力向上に努めた。・創意工夫を凝らした展示コーナー等により、利用者への生物多様性、環境保全啓発に努めた。	<ul style="list-style-type: none">・新幹線が見えるビュースポットが活かされていない。関係団体と連携した事業の創出なども含め、集客性を高める工夫をしてほしい。